

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	令和の日本型学校体育構築支援事業			担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	政策課		企画調整室長 日比謙一郎
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	スポーツ基本法第17条			関係する 計画、通知等	第3期教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定) 第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定)		
政策	11 スポーツの振興			主要経費	教育振興助成費		
施策	11-1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_11-1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	令和の日本型学校体育の構築に向けて、子供たちの安全・安心を確保し、技能差・体力差・体格差等に配慮しながら、個々の能力に適した指導・支援を行うことで、すべての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現する体育の授業改善を図ることを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	学校における体育活動は、体力の向上、健康増進、競争心や協調性、他者を尊重する精神の涵養、人間関係の形成など、生涯にわたる豊かな生活を実現するための基礎が培われるものである。新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、様々な活動が制限される中、子供たちが運動やスポーツに親しむことができるようにするためには、体育の授業において運動の多様な楽しみ方を共有し、運動が苦手な子供をはじめ、全ての子供にできる喜びを味わわせていくことが求められる。						
事業概要 (5行程度以内)	本事業は、現状・課題に対し、①個別最適な学びを充実するために、一人一台端末を活用した学習の指導内容や指導方法等の工夫についての実践研究を行うこと、②障害の有無にかかわらずスポーツに親しむ共生社会の実現に資する指導内容や指導方法等の工夫についての実践研究を行うこと、③我が国の伝統文化である多様な武道種目の指導の充実を図るため、多様な武道種目の授業研究の実施や武道関係団体による支援体制の強化を図る取組を行うこと、④水難事故防止対策を強化するために学習指導方法等の工夫について実践研究を行い、また、事故事例の分析等を基に、事故防止についての普及啓発を行うこと、⑤アスリートと子供たちの交流を通じて、運動意欲を喚起する教育手法の研究・展開を図り、望ましい運動習慣の形成、体力・運動能力の向上を目指すことの5つの実施内容の成果を発信する事業である。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	-	-	233.8	361.4	451.4
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	▲26.8	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	207	361.4	451.4	
	執行額(G)		-	-	139.4		
	執行率(%) =(G)/(F)		-	-	67%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		-	-	60%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	スポーツ振興費			アスリートの派遣等による体育授業等の充実・高度化の促進及び障害の有無にかかわらず共に学ぶ体育授業の充実の予算の更なる拡充。 ※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。		
	(目)	スポーツ振興事業委託費	361	451			
		職員旅費	0.4	0.4			
		委員等旅費	0.1	0.2			
		庁費	0.1	0.2			
		諸謝金	0.1	0.1			
		その他	0	0			
	計(A)		361.4	451.4			

活動内容① (アクティビティ)		学校の体育授業において、児童生徒がアスリートとの交流を通じて、わかる・できるを体感したり、運動やスポーツの意義を感じたりすることにより、子供たちが自ら運動する意欲を喚起する教育手法の研究・展開を図り、望ましい運動習慣の形成、体力・運動能力の向上を目指す。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		アスリート派遣の実施	アスリート派遣の件数	活動実績	件	－	－	－	－	－
				当初見込み	件	－	－	－	670	1,000
↓	成果目標①～1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	初期段階として、アスリートとの交流による体育の授業を児童生徒が楽しいと感じているかを把握する必要があることから設定した。								
成果目標及び成果実績 ①～1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		体育の授業は『楽しい』と回答する児童 生徒の割合を増やす	体育の授業は『楽しい』と回答 する児童生徒の割合	成果実績	%	－	－	－	－	
				目標値	%	－	－	－	70	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		受託団体によるアスリート派遣実施後の児童生徒に対するアンケート調査								
↓	成果目標①～2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	アスリートとの交流による体育の授業の中で、児童生徒がわかる・できるを感じたり、運動やスポーツの意義を感じることで、望ましい運動習慣の形成につながることから設定した。								
成果目標及び成果実績 ①～3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		将来、自主的に運動やスポーツをする 時間を持ちたいと回答する児童生徒の 割合を増やす	将来、自主的に運動やスポー ツをする時間を持ちたいと回 答する児童生徒の割合	成果実績	%	－	－	－	－	
				目標値	%	－	－	－	80	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		受託団体によるアスリート派遣実施後の児童生徒に対するアンケート調査								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		教育委員会と大学・地域等が連携・協働した先導的な取組、特色ある武道指導の実践研究、支援体制の強化、指導成果の検証及び指導法の研究を行い、質の高い体育、保健体育授業の実践、指導者の資質向上や指導力強化を推進する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		多様な武道種目を取り入れた体育授業の実施	多様な武道種目を取り入れた体育授業の実践研究に取り組む団体数	活動実績	団体	－	－	30	－	－	
				当初見込み	団体	－	－	44	44	44	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	初期段階として、多様な武道を経験する機会が少ないという課題から、現状把握が必要であるため設定した。									
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度		
		多様な武道種目に取り組む学校数の割合を増やす	多様な武道種目に取り組む学校数の割合	成果実績	%	－	－	－	－		
				目標値	%	－	－	－	9		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		受託団体の完了報告書の成果実績									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	多様な武道に触れるとともに、武道の指導の一層の充実を図るためには、質の高い授業実践や教員等の指導力向上が必要であることから、生徒の武道に対する捉えを把握する必要があることから設定した。									
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度		
		武道は『楽しい』と回答する児童生徒の割合を増やす	武道は『楽しい』と回答する児童生徒の割合	成果実績	%	－	－	－	－		
				目標値	%	－	－	－	80		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		受託団体の完了報告書の成果実績									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

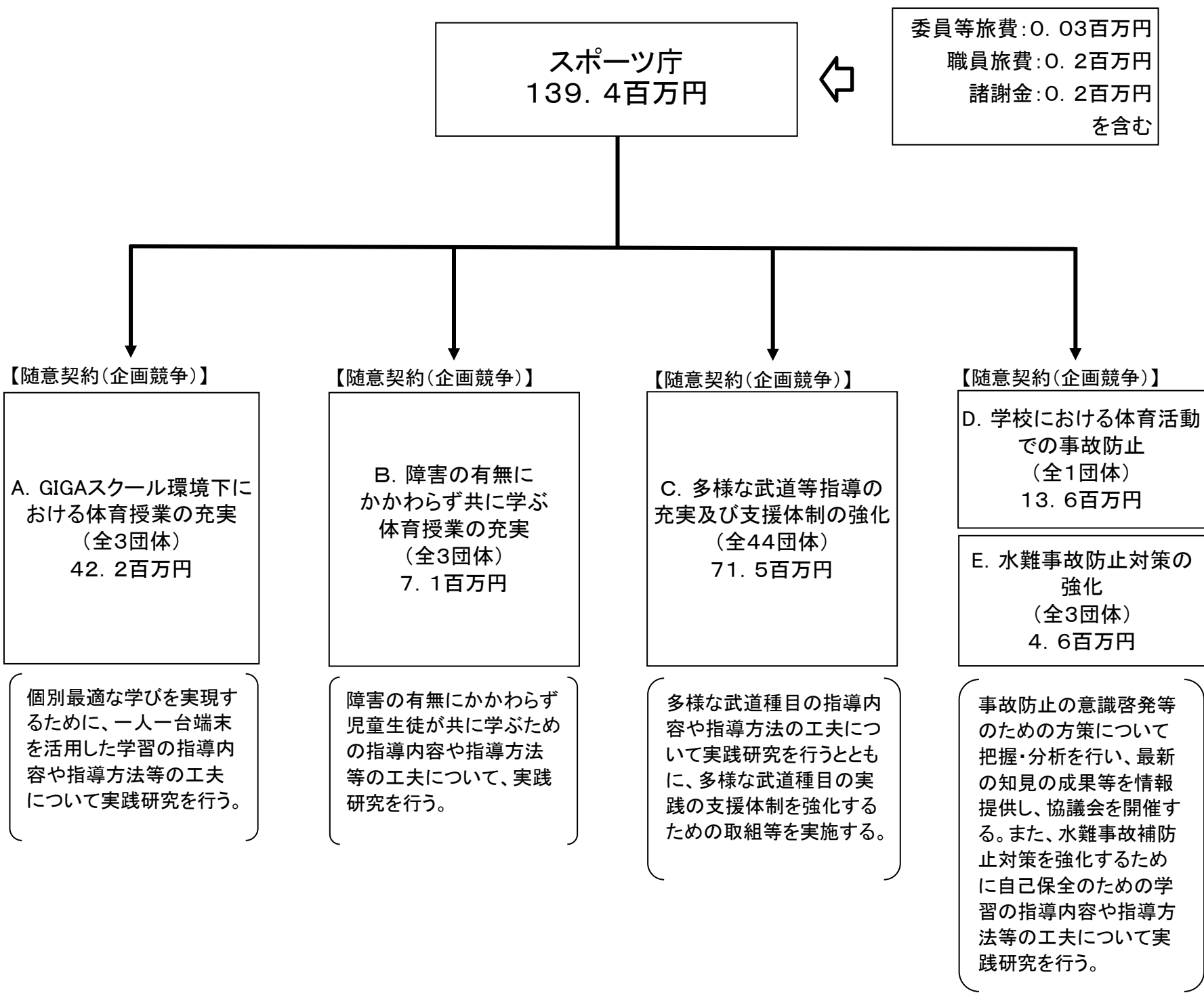
活動内容③ (アクティビティ)		全国の教育委員会、学校、大学、スポーツ関係団体等の関係者に対して、体育活動中の重大な事故事例や情報、再発防止のために留意すべき点、防止方策等について把握・分析・研究を行い、課題に対応する取組を推進し、安全でより効果的な体育活動を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		学校における体育活動中での事故防止に関する協議会の開催	学校における体育活動中での事故防止に関する協議会の開催箇所数	活動実績	箇所数	－	－	11	－	－
				当初見込み	箇所数	－	－	11	11	11
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	初期段階として、学校体育活動における事後防止のためには、事故事例や情報、再発防止のために留意すべき点、防止方策等について広く周知することが必要であることから設定した。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		協議会・セミナーの参加者数を増やす	協議会・セミナーの参加者数	成果実績	人	－	－	1,005	－	
				目標値	人	－	－	－	1,100	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		研修・セミナーの運営実績								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	協議会・セミナーへの参加者数が増え、安全な体育活動を実施するための情報が広く周知されることで、事故件数が減少することから設定した。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		小・中・高等学校における体育活動中の障害・死亡の災害発生件数を減らす	小・中・高等学校における体育活動中の障害・死亡の災害共済給付件数	成果実績	件	－	－	193	－	
				目標値	件	－	－	－	150	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		災害共済給付状況(独立行政法人日本スポーツセンター)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容④ (アクティビティ)		通常学級の体育授業において、障害の有無に関わらず児童生徒がともに学ぶための指導内容や指導方法等の工夫について、実践研究を行う。											
↓													
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込			
		障害の有無にかかわらず共に学ぶ体育授業の実施	障害の有無にかかわらず共に学ぶ体育授業の実践研究に取り組む団体数	活動実績	箇所数	－	－	3	－	－			
				当初見込み	箇所数	－	－	3	7	10			
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	初期段階として、障害の有無にかかわらず共に学ぶ体育授業の実践事例が少ないという課題があり、障害や領域の特徴に応じた参考となる事例があることで、体育授業の実践がしやすくなることから設定した。											
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度				
									6	年度			
				成果実績					件	－	－	－	－
				目標値					件	－	－	－	16
			達成度	%	－	－	－	－	－				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		受託団体の実践事例報告書											
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	障害や領域の特徴に応じた体育授業が行われることで、障害のある児童生徒が参加しやすい環境が整い、参加を希望する障害のある児童生徒の見学者数が減少することから設定した。											
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度				
									8	年度			
				成果実績					%	－	－	－	－
				目標値					%	－	－	－	－
			達成度	%	－	－	－	－	－				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		障害者スポーツに関する調査・研究											
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由											
		－											
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由											
		－											

活動内容⑤ (アクティビティ)		学校の体育授業において、児童生徒の個別最適な学びを充実させるために、一人一台端末を活用した学習の指導内容や指導方法等の工夫について実践研究を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		ICTを活用した体育授業の実践	ICTを活用した体育授業の実 践研究に取り組む団体数	活動実績	箇所数	－	－	7	－	－
				当初見込み	箇所数	－	－	3	3	5
↓	成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	初期段階として、ICTを活用した体育授業の活用方法のバリエーションが少ないという課題があり、活用目的に応じた事例があることで、体育授業の実践がしやすくなることから設定した。								
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		ICTを活用した体育授業の活用方法例 の種類を増やす	ICTを活用した体育授業の活 用方法例の種類	成果実績	件	－	－	－	－	
				目標値	件	－	－	－	9	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		受託団体の実践事例報告書								
↓	成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	ICTを効果的に活用した体育授業が行われることで、より充実した学習が実現され、児童生徒が新たにできる・わかるようになることから設定した。								
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
		ICTを活用することでできたり、わかつた りすることができた児童生徒の割合を 増やす	ICTを活用することででき たり、わかつたりすることができ た児童生徒の割合	成果実績	%	－	－	－	－	
				目標値	%	－	－	－	80	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		受託団体の完了報告書の成果実績								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者に ついて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	撮影費等	14.9	旅費	会議出席者旅費、指導助言者旅費等	1.1
	人件費	作成担当者	8.9	諸謝金	会議出席者謝金、講師謝金等	0.8
	一般管理費		2.6	人件費	資料収集補助、実地調査補助等	0.7
	諸謝金	作成協力者謝金	2.4	一般管理費		0.3
	旅費	作成協力者旅費	0.5	消費税相当額		0.2
	消耗品費	撮影物品	0.4			
	借料及び損料	会場費等	0.3			
	会議費	茶代等	0.1			
	計		30.1	計		3.1
	C.			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	授業協力者旅費	1.9	旅費	協議会委員旅費、セミナー講師旅費等	3.9
	印刷製本費	印刷費等	1.5	雑役務費	看板作成、オンライン配信業務費等	2.8
	通信運搬費	郵送料等	0.8	借料及び損料	セミナー会場費、感染症対策備品借料費等	2.6
	一般管理費		0.5	諸謝金	協議会委員謝金、セミナー講師謝金等	1.8
	消耗品費	用紙代等	0.3	印刷製本費	ガイドブック作成費等	1.2
	諸謝金	指導助言者謝金	0.1	一般管理費		1.1
				消耗品費	感染症対策消耗品費	0.1
				消費税相当額		0.1
	計		5.1	計		13.6
	E.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	諸謝金	推進委員謝金	1.1			
	消耗品費	ライフジャケット	0.3			
	一般管理費		0.2			
	旅費	推進委員旅費	0.1			
	計		1.7	計		
	費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社アイフィス	1010001000179	GIGAスクール環境下における 体育授業の充実	30	随意契約(企画 競争)	7	100%	
2	株式会社MIZUTORI	4010901040899	GIGAスクール環境下における 体育授業の充実	3.5	随意契約(企画 競争)	7	100%	
3	学校法人日本体育大学	5010905000774	GIGAスクール環境下における 体育授業の充実	3	随意契約(企画 競争)	7	100%	
4	京都府教育委員会	2000020260002	GIGAスクール環境下における 体育授業の充実	2.6	随意契約(企画 競争)	7	100%	
5	奈良県教育委員会	1000020290009	GIGAスクール環境下における 体育授業の充実	2	随意契約(企画 競争)	7	100%	
6	三重県教育委員会	5000020240001	GIGAスクール環境下における 体育授業の充実	1.2	随意契約(企画 競争)	7	100%	
7	山口県	2000020350001	GIGAスクール環境下における 体育授業の充実	1.1	随意契約(企画 競争)	7	100%	
B								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人筑波大学	5050005005266	障害の有無にかかわらず共に 学ぶ体育授業の充実	3	随意契約(企画 競争)	3	100%	
2	京都市	2000020261009	障害の有無にかかわらず共に 学ぶ体育授業の充実	2.6	随意契約(企画 競争)	3	100%	
3	香川県教育委員会	8000020370002	障害の有無にかかわらず共に 学ぶ体育授業の充実	1.5	随意契約(企画 競争)	3	100%	

